

'16. 5. 19

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田直樹

http://tosaren.web.fc2.com/index.html

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

『平成 28 年度に思うこと』

5年前の東日本大震災の後、九州手話サークル連絡協議会（九手連）会長と支援について何回かメールの交換をしたことがありました。その後連絡は途絶えていたのですが、今年の3月初めに九手連会長より、『九手連の研修会で、都サ連の組織や活動、防災についての情報交換をしたい』とのメールを頂戴しました。東京でも首都直下型大地震の災害が起きる懸念があり、九手連との情報交換はとても意義深いものがあるとの思いから、宮崎での研修会に参加することを決心しました。

直後の4月14日に熊本地震が起り、予期せぬ事態となってしまいました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、まだまだ多くの被災者の方が避難所生活を余儀なくされています。避難所で生活されています方々のご健康と、一日も早い復興を心より祈るばかりです。

東京都手話サークル連絡協議会としましても、熊本地震の支援について協議をし、短い時間でしたが緊急募金を実施しました。十日間という短期間にもかかわらず、なんと40万円超えの「441,138円」の支援金が集まりました。加盟サークルのみならずには多くのご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。皆さまの温かい善意の支援金は、全日ろうあ連盟を通して、被災地熊本へ届けることができました。今回の緊急募金を通じて、都サ連の存在の意味と力強さを、改めて感じた瞬間でもありました。

最近の社会を見ますと、インターネットの出現で自由に情報が獲得できる世の中になり、都サ連の存在は必要ないのではないかという意見もあります。

しかし、インターネットが急速に普及した良さもあるのですが、自分の心地よい情報だけに接するようになります。同じ考えを持つ者同士だけで話し合ううちに、議論がどんどん先鋭化し、自分と違う他者の存在を排除するようになっていく傾向があります。

都サ連は、幅広い視野と俯瞰的な立場に立って、各地域のサークル同士の情報交換や交流を大切にし、区市町村単位の壁を越え、積極的に運動を進めて行きたいと思っています。都サ連が今後どのような活動ができるのかは未知の部分が多いのですが、今まで以上に充実した活動をしていかなければならないと思っています。平成28年度も加盟サークルやサークル員のご協力をお願いします。

東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田直樹

都サ連総会報告

4月29日（金・祝）リフレッシュ氷川にて、都サ連総会が開催されました。

出席サークル23（67名）、欠席サークル3（委任2）と多くの方々に集まって頂き、北区手話サークルの清水氏の議事進行により行なわれました。高田代表の挨拶の後、来賓として「公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟」会長の栗野氏よりご挨拶を頂きました。栗野氏は総会の最後まで臨席してくださり、公益社団法人社員についての審議の際には、機構の概要について説明、質問にもお答えいただきました。

総会では、2015年度活動報告、2015年度会計報告、2016年度活動案、2016年度予算案、すべて承認されました。また、役員（代表、事務局長、会計）は、それぞれ高田、河野、剣持が今年度も承認されました。法人の社員になることについては、賛成8・反対7・保留9と、どれも過半数を満たさず、今回も保留となりました。

参加サークルからは、時間いっぱい4時過ぎまで、今後の都サ連のあり方について活発な意見が出されました。（詳細は、総会の記録をご覧ください。）（文責：河野）

事務局長からのコメント

総会では、活発なご意見を頂き、ありがとうございました。事務局長としては、これらの貴重なご意見をどう具体化していくか、皆さまのご助言を頂きながら考え、実行していきたいと思っております。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。（河野）

会計からのコメント

昨年度も皆さまのご協力でつつがなく会計を終えることができました。ありがとうございました。今年も運営資金の管理に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。（剣持）

領収証

No. 4

東京都手話サークル連絡協議会 様 2016年 5月 11日

金額 ￥ 441,138-

但 平成28年熊本地震 支援金 として

上記正に領収いたしました

聴覚障害者災害救援 中央会
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130
一般財団法人 全日本ろうあ連盟
TEL(03)3268-8847 FAX(03)3268-8116

自立支援センター運営委員会報告

【4月9日(土)報告】

・2016年度運営委員と監査について
高田・杉石はセンター啓発部委員となりました。センターまつり、耳の日記念文化祭を中心に活動します

・センターまつりについて

7月18日(海の日)開催決定

実行委員長 田原(東聴連)

副実行委員長 高田(都サ連)、寺田(都難協)

第1回実行委員会 4月27日(水)

第2回実行委員会 5月14日(土)

第3回実行委員会 5月27日(金)

・職業委託訓練 5月10日～

・相談支援職員の募集をし、木曜・金曜のアルバイト決定

・2016年度上級手話講習会4月より開講
素晴らしい手話の世界への招待受講生募集

・2015年度決算の承認

次回運営委員会は5月14日(土)

10～12時

(文責：高田・杉石)

たましろの郷後援会役員会

施設本部から 今年度新たに鈴ヶ嶺氏が加わった

事務局から 2016年度会員数/個人778名(839口)団体25(34口)出前講座の成果か?

昨年同月に比べて会員数はうれしい増加!

全聴福研大会/今年は京都開催 来年から3年間は関東開催か 後援会としての関わり方の確認が必要

会計報告 昨年度は繰越金を使っているため黒字だが、このままだと赤字になる

今後の予定 6/4(土)2015年度活動報告

集会 渋谷区地域交流センター新橋にて

7/23(土)たましろの郷夏まつり まつりを盛り上げる模擬店を募集中です!

*たましろの郷を支えるためには、会員の拡大が必要です。後援会ではたましろの郷を知っていただくために「出前講座」を行っています。ぜひ、あなたのサークルで「出前講座」を呼んでみませんか?お気軽にお問い合わせください!

(文責：天野)

第106回福祉対策会議報告(4月4日)

- ・3/20、東聴連評議員会と公益社団法人東京聴覚障害者支援機構の社員総会を開催。福祉対策会議の構成8団体は、東聴連と機構の総会資料提供を受けた。代表のもとで保管。
 - ・共同募金会からの補助金を得て、2016年度に聴覚高齢障害者の実態調査を行う予定。
 - ・9/24・25、関東ろう者大会を東京主管で開催予定(オリンピックセンター)。いつもと異なる分科会形式を企画中。
 - ・東京都は、手話カレッジを11/13(日)に首都大学東京で開催予定。同日の夜に、東京都聴覚障害者大会を京王プラザホテル多摩にて祝賀会形式で開催予定。
 - ・中難協は、公益信託オラクル有志の会ボランティア基金の助成を得て、パンフ『聞こえに困ったら～聞こえにくさを感じ始めているあなたへ～』を作成し、福祉関連団体、補聴器店、病院、区市障害福祉課などへ配布。構成8団体も受領し、都サ連は代表が保管。
 - ・東京都は、『東京都障害者差別解消法ハンドブック』を作成、5月配布予定。守秘義務にも触れている内容(都福祉局HPに掲載)。
 - ・【参政権委員会】7月に衆参ダブル選挙となった場合も見据えて、課題を検討していく。
 - ・【災害対策部】7/24講演会の予定。講師は、阪神淡路大震災時に支援に関わった手話通訳者。
 - ・この4月、障害者差別解消法は施行されたが、「障害者差別解消支援地域協議会」設置はわずか6%という状況、相談窓口がないことは大きな課題。
 - ・東京都の遠隔手話通訳モデル事業は、聴覚障害者の社会参加を促進するため都立施設にICTを活用した遠隔手話通訳等を導入し、都内六ヶ所(都庁内2ヶ所、都庁前駅、府中にある都立病院・・・など)にタブレットを置いて、二年間実施する予定。
 - ・金町学園は、足立区舎人(とねり)に土地を購入することが決定したが、認可が最大の課題。
- *次回会議日程：6月6日(月)・5月は休み (文責：高田・林)

参政権保障委員会報告(2016/4/18,5/16)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。

●今年度の委員会

4/18, 5/16, 6/20, 8/22, 10/17, 11/21, 12/19, 2017/1/16, 2/20を予定。

●7月の参議院選挙に向けて ・7/9(土)13:00からスマイル中野4階多目的室にて、政見放送のビデオ上映会を予定している。 ・各政党に、聴覚障害者の知る権利に基づいて、情報保障をしてほしい旨を申し入れる予定。福祉対策会議で承認後、全日本ろうあ連盟から働きかける。

・今回の選挙から、子供連れで選挙にいけるようになったので、各団体に、子供連れで選挙に行ってほしいと働きかける。 ・全難聴に、NHKに対して字幕に関する要望を出すように働きかける。

●東京青年会議所に対して 公開討論会の情報保障について質問状を用意し送る予定。

●学習会開催について 北区議 斉藤里恵議員の他に、「障害を持つ議員連盟」の中から、もう1人、講師を選ぶ案がでていいる。(文責：三村)